

平成 26 年度

仙台市自動車運送事業会計  
決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市交通局

# 1 決算の概況

本年度の自動車運送事業は、「仙台市自動車運送事業経営改善計画（改訂版）」（計画期間：平成 23 年度～平成 26 年度）に基づき地下鉄東西線の開業に合わせたバス路線の再編に向けた準備を進めました。また、期間満了となる同計画については、新たな取り組み項目を加えた上で期間を 2 年間延長しました。

経営面におきましては、経営の効率化に向けた取り組みとして、霞の目営業所におけるバス運転業務等の管理の委託を拡大したほか、昨年度と同様に中古車両を活用し、バス車両更新に係る投資を抑制しました。また、利用促進策につきましては、「学都仙台 市バス（+地下鉄）フリーパス」の発売や「100 円パッ区」などを継続して行いました。

乗客サービスの向上策といたしましては、利便性向上の観点から新市立病院の開院に合わせ一部路線の延長を行いました。また、バス待ち環境の改善のため、引き続き広告付きバス停留所上屋の増設を行ったほか、ICカード乗車券 **icsca**（イクスカ）の導入に向けて、対応する車載機への更新等を順次進めました。

このほか、購入したバス車両については、バリアフリー化を積極的に推進するため全てノンステップバスとし、中古車両を除き環境負荷の少ないアイドリングストップ装置付きとしました。さらに、長町及び実沢営業所の全車両へ常時記録型ドライブレコーダーを設置し、安全運転の強化等への取り組みを進めました。

このような状況のなか、乗客数は 44,779 千人（1 日平均 122,682 人）と前年度に比較して 247 千人、0.6 パーセントの増となった一方、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は 72 億 2 千 9 百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して 5 千 3 百万円、0.7 パーセントの減となりました。この結果、収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）においては 4 億 4 千 9 百万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は 62 億 4 千 9 百万円となっておりますが、地方公営企業法第 32 条第 3 項に基づく資本剰余金の処分として、現存しない償却資産に係る資本剰余金 19 億 3 千万円を取り崩すことにより、43 億 1 千 9 百万円が翌年度に繰り越されることとなります。

地下鉄東西線開業後、一層厳しくなる経営環境の中においても、地域の足、市民の足としての役割を果たせるよう、引き続き更なるサービスの向上と経営体質の強化に取り組んでまいります。

## 2 事業実績表

区 分	年 度	単位	平成26年度 (C)	平成25年度 (D)	対 前 年 度 比 較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	594.8	594.1	0.7	100.1
在 籍 車 両		両	532	530	2	100.4
年間走行キロメートル		km	18,487,192	18,289,158	198,034	101.1
乗 客 数	定 期 外 (A)	人	29,106,143	29,673,554	△ 567,411	98.1
	定 期	人	15,445,950	14,610,300	835,650	105.7
	乗 合	人	44,552,093	44,283,854	268,239	100.6
	貸 切	人	226,825	248,067	△ 21,242	91.4
	計 (B)	人	44,778,918	44,531,921	246,997	100.6
	一 日 当 り	人	122,682	122,005	677	100.6
乗 車 料 収 入	定 期 外	千円	5,515,286	5,654,893	△ 139,607	97.5
	定 期	千円	1,658,177	1,566,066	92,111	105.9
	乗 合	千円	7,173,463	7,220,959	△ 47,496	99.3
	貸 切	千円	56,005	61,387	△ 5,382	91.2
	計	千円	7,229,468	7,282,346	△ 52,878	99.3
	一 日 当 り	千円	19,807	19,952	△ 145	99.3
職 員 数 ( 管 理 者 除 く )		人	(304)	(327)	( △ 23 )	93.0
			415	439	△ 24	94.5
輸 送 人 員 定 期 外 比 率 (A) / (B)		%	65.0	66.6	△ 1.6	-

(注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

2 職員数の( )は、乗務員の数を示す。

### 3 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成26年度予算額					平成26年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	繰越額	合計 (A)		
自動車運送事業収益	10,977,581	0	0	0	10,977,581	10,898,929	△ 78,652
営業収益	8,061,278	0	0	0	8,061,278	7,966,193	△ 95,085
運送収益	7,837,675	0	0	0	7,837,675	7,717,200	△ 120,475
運送雑収益	223,603	0	0	0	223,603	248,993	25,390
営業外収益	2,908,861	0	0	0	2,908,861	2,932,736	23,875
受取利息及び配当金	430	0	0	0	430	700	270
他会計補助金	2,825,681	0	0	0	2,825,681	2,825,601	△ 80
長期前受金戻入	71,548	0	0	0	71,548	68,609	△ 2,939
雑収益	11,202	0	0	0	11,202	32,193	20,991
県補助金	0	0	0	0	0	5,633	5,633
特別利益	7,442	0	0	0	7,442	0	△ 7,442
自動車運送事業費用	11,789,932	73,886	0	0	11,863,818	11,295,017	△ 568,801
営業費用	11,291,448	73,886	△ 18,334	0	11,347,000	10,870,120	△ 476,880
人件費	5,231,097	0	0	0	5,231,097	4,882,424	△ 348,673
経費	5,466,450	73,886	0	0	5,540,336	5,426,917	△ 113,419
減価償却費	593,901	0	△ 18,334	0	575,567	560,779	△ 14,788
営業外費用	186,917	0	0	0	186,917	145,007	△ 41,910
支払利息及び企業債取扱諸費	30,888	0	0	0	30,888	13,348	△ 17,540
消費税及び地方消費税	151,000	0	0	0	151,000	127,906	△ 23,094
雑支出	5,029	0	0	0	5,029	3,753	△ 1,276
特別損失	261,567	0	18,334	0	279,901	279,890	△ 11
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益（税込み）	△ 812,351	△ 73,886	—	—	△ 886,237	△ 396,088	490,149
当年度純損益（税抜き）	△ 873,172	△ 68,796	—	—	△ 941,968	△ 449,221	492,747
繰越利益剰余金 （△繰越欠損金）	△ 5,800,100	0	—	—	△ 5,800,100	△ 5,800,100	0
未処分利益剰余金 （△未処理欠損金）	△ 6,673,272	△ 68,796	—	—	△ 6,742,068	△ 6,249,321	492,747

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益（税抜き）、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○未処分利益剰余金（未処理欠損金）について

現存しない償却資産に係る資本剰余金1,930,583千円について、地方公営企業法第32条第3項に基づく処分として取り崩すことにより、4,318,738千円が未処理欠損金として翌年度に繰り越される。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成26年度予算額					平成26年度 決算額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	繰越額	合 計 (A)			
自動車運送事業資本的収入	1,019,932	550,341	0	82,140	1,652,413	1,403,325	△ 249,088	66,564
企 業 債	830,000	207,000	0	32,000	1,069,000	899,000	△ 170,000	45,000
出 資 金	94,000	0	0	0	94,000	94,000	0	0
他 会 計 補 助 金	45,432	343,341	0	50,140	438,913	377,757	△ 61,156	21,564
県 補 助 金	11,100	0	0	0	11,100	5,967	△ 5,133	0
国 庫 補 助 金	32,832	0	0	0	32,832	837	△ 31,995	0
固 定 資 産 売 却 代 金	6,568	0	0	0	6,568	24,468	17,900	0
そ の 他 資 本 的 収 入	0	0	0	0	0	1,296	1,296	0
自動車運送事業資本的支出	1,428,142	551,311	0	83,250	2,062,703	1,809,490	△ 253,213	67,429
建 設 改 良 費	923,804	551,311	0	83,250	1,558,365	1,335,671	△ 222,694	67,429
企 業 債 償 還 金	472,328	0	0	0	472,328	472,327	△ 1	0
投 資	2,000	0	0	0	2,000	1,492	△ 508	0
そ の 他 資 本 的 支 出	10	0	0	0	10	0	△ 10	0
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	△ 30,000	0
差 引	△ 408,210	△ 970	0	△ 1,110	△ 410,290	△ 406,165	4,125	△ 865

補 て ん 財 源	△ 271,887	△ 55,618	△ 959	2,451	△ 326,013	131,048	457,061	3,397
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	60,821	13,178	0	2,451	76,450	52,665	△ 23,785	3,397
損益勘定留保資金	544,502	0	△ 959	0	543,543	531,642	△ 11,901	0
当年度純損益	△ 873,172	△ 68,796	0	0	△ 941,968	△ 449,221	492,747	0
前年度繰越金	△ 4,038	0	0	0	△ 4,038	△ 4,038	0	0
災害復旧事業債 (営業費用充当分)	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度末資金剰余額	△ 680,097	△ 56,588	△ 959	1,341	△ 736,303	△ 275,117	461,186	2,532

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位：千円，%)

資金不足額 (※1) (a)	事業規模 (※2) (b)	資金不足比率 (a)/(b)
37,297	7,463,358	0.4

※1 資金不足額については、会計制度改正による算入猶予額237,820千円を控除した額である。

※2 事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

## 4 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	平成26年度 事業費	主たる事業
土 地	30,091	茂庭台バス回転場用地取得
建 物	25,034	白沢整備作業所改築工事
車 両	516,571	ノンステップバス購入 31両
機 械 装 置	5,644	実沢整備工場リフト更新
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	753,286	IC乗車券システム導入
構 築 物	4,851	西中山バス回転場舗装工事
その他無形固定資産	194	財務会計システム更新
計	1,335,671	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。